

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山福富校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令遵守しスペース確保しています
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置しています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所外に階段有り、段差等危険個所に注意するよう注意喚起していく
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月事業所内での会議を行い目標設定にて各自担当を持ち実施しています
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在利用者・社内の2社評価をとっております。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討して参ります
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			1ヶ月の初任者研修を実施し、その後も全ての指導員に継続的に研修を行っています
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者への聞き取りを行い、アセスメントの後プランに反映させている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			計画期間毎にアセスメントを取った上で個別支援計画を作成、統一したアセスメントシートを使用しています
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にケース会議を行い、事例の共有・議論を行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			特性や気持ち・興味に合わせて効果的に楽しく学べる指導を追求します。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			目標設定を行いながら児童の状態に合わせて実施している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有を行っています

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有を行っています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回指導記録をとり、見直すことでお子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヵ月毎のモニタリング更新を行い、計画の見直しを判断しています
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			個々のお子様の課題に応じて基本活動を複数組み合わせ、支援を実施している
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開しています
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者の方より要望が合った際は、学校との連絡調整の為、情報共有や相互理解を図れるように取り組んでいる
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な児童は現在いない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			支援内容の連携が出来るように取り組んでいる。保護者の方の要望により移行支援としての情報共有を行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			児童のより良い生活の実現の為支援経過や内容の情報共有をしている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			要望に合わせて他の専門機関との連携が取れるよう取り組んでいる
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在交流は行っていない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加しています
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています
保護者へ	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支

の 説 明 責 任 等					援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています	
	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会は現在行っていない
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しています。頂いた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様・保護者様の状態に応じて、ICTやその他視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。また合理的配慮に関するハンドブックを作成するなど、合理的配慮の推進についても尽力しております
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は行っていない
	非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回の防災訓練を実施しています
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを策定し、研修を実施しています
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			マニュアルを策定し研修を実施しています。保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しています
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			受付の時にお子様の状態を聞き取りし状態を把握しています
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			現在事例は無いが、ヒヤリハット事例が起こった際には報告書を作成・保管することとし、職員間で共有していきます

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山福富校

保護者等数（児童数）47 名 回収数 13 名 割合 28%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	6	3	歩行困難や設備面でフォローの必要である利用者の場合は職員間での情報共有を行う。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	12	1	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	11	2	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	7	パンフレット等を提示し、他事業所や交流の場の機会を提供していきたいと思います。
保護者への説明	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	お話をさせて頂く機会を時々設けて下さり助かっています、

明 等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	6	7	今後、ご要望に応じながら保護者会等の連携を図る事の出来る場を提供していきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	6	1	苦情等の場合には、マニュアルに沿い適切に対応を行い、再発防止策を検討議論していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	4	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	7	1	掲示物で活動報告を行い、ホームページでブログを公開し行事や連絡に活用しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	6	0	定期的に全職員が研修を受けています。また契約時に各種マニュアルの説明を行い周知に努めています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	5	0	
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	9	4	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11	2	0	今は不定期で支援をしてもらっている為

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。